

八学大図書館でビブリオバトル

八戸学院図書館で開かれたビブリオバトルで優勝した山本光美さん(7月5日、八戸市)



発表を聞く参加者

お薦め本の魅力熱弁

お薦めの本の魅力を紹介しあう八戸学院大の知的書評合戦「ビブリオバトル」が7月上旬、八戸学院図書館チャペルで開かれた。同大にとって初めての開催で、学生らが自分のお気に入りの一冊を発表。最後に参加者全員で、最も読みたいと思った本に投票し、チャンプ本(優勝)を決めた。

「ビブリオバトルin八戸」(同社と同大共催)出場の練習も兼ねて行われた。エントリィは学生4人と企画に携わった同図書館の織戸浩事務室長の5人。ビブリオバトルがどういうものか知ってほしい」との思いから、織戸事務室長がトップバッターを務めた。発表者はお気に入りの本について5分間でプレゼンした後、2分間の質疑応答に臨み、初めてながらも真剣に取り組んでいた。「一日がしあわせになる朝ごはん」(小田真規子、大野正人著)を紹介し、優勝した4年の山本光美さん(21)は「何回読んでも面白い。料理の写真も多くておもしろい。読んでいると作りたくなってくる」と本の魅力を熱弁した。自「啓発本を紹介した2年の山道瑞希さん(20)は「他の人にも分かってもらえるように伝えることで、自分自身もしっかりと内容を理解できた」と書評の意義を強調した。

(稲村安利)

社会最前線